

第35回 言友会中部大会

吃音(きつおん)のある人のためのつどい

開催日

2022年9月24日(土)・25日(日)

1日目・2日目ともに

参加無料

会場

富山県総合福祉会館 サンシップとやま 研修室 602・603・604
(富山市安住町 5-21)

プログラム

○1日目 (13:30 開場、14:00 開会)

基調講演「吃音のある子どもに正しく関わっていますか？」

周りの理解と啓発－他者理解と自己理解」

講師: 堅田利明 (関西外国語大学短期大学部准教授/言語聴覚士/教育学博士)

吃音当事者による体験談発表、など

○2日目 (9:15 開場、9:30 開会)

少人数グループトーク (女性のつどい、保護者のつどい、就活・就労について、など)

※2日目は事前予約が必要です。申し込み方法は裏面をご覧ください。

対象

- ・吃音のある人、吃音のある人のご家族
- ・吃音のある人の支援者(教員、言語聴覚士など)
- ・吃音に関心のある人はどなたでも

富山言友会
公式 Twitter



思いやり、ファースト。
公益信託
富山ファーストバンク
社会福祉基金

○公益信託富山ファーストバンク社会福祉基金の助成により事業を実施しています○

主催 富山言友会 / 後援 富山県、富山市、富山県教育委員会、富山市教育委員会
北日本新聞社、富山県言語聴覚士会、NPO 法人 全国言友会連絡協議会、日本吃音・流暢性障害学会

吃音 (きつおん) とは

吃音とは「言葉がつまりやすい・なめらかに話せない症状」のことで、かつては「どもり」とも呼ばれていました。主な症状は①繰り返し(例:おおおおはよう)②引き伸ばし(例:おーはよう)③ブロック(例:・・・おはよう)の3つがあります。話すときに手や足を動かしたり顔が震えたりする**随伴運動**がともなう場合もあります。

吃音をもつ人は100人に1人の割合でいると言われていますが、症状の度合いは人によって異なります。

吃音によって引き起こされる問題は、「スムーズに話せないこと」そのものだけではありません。吃ることを恐れるあまり人前で話すことに消極的になったり、「吃る自分」をネガティブに感じて苦悩を深めたりすることが問題の本質です。また、表面的な症状の重さと心理的な悩みの深さは必ずしも一致しません。周囲の人からは問題がわかりにくいのも吃音の特徴のひとつです。

言友会は、吃音のある人のセルフヘルプグループ(自助団体・当事者団体)として1966年に東京で発足しました。個々の吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や、吃音に対する理解を深めるためのイベント開催などの取り組みを行っています。

主に都道府県単位で活動しており、全国に約40の団体があります。富山言友会は北陸でもっとも遅く、2017年9月に発足したばかりの新しい会です。会員それぞれが「吃音があっても豊かに生きる」ための方法を見つけるべく、活動を続けています。

言友会 (げんゆうかい) とは

プログラム

〇1 日目 (9月24日) ※申し込み不要

- 13:30 開場・受付開始
- 14:00 開会のあいさつ
- 14:10 基調講演 (講師:堅田利明先生)
- 15:40 休憩
- 16:00 吃音当事者による体験談発表
- 16:20 質問コーナー
- 16:30 閉会のあいさつ

※内容や時間配分は変更となる場合があります。

〇2 日目 (9月25日) ※申し込み必要

- 9:15 開場・受付開始
- 9:30 少人数グループトーク
(女性、保護者、支援者、就活・就労、ご当地関連、など)
- 11:30 閉会のあいさつ

※必ず専用フォームからの事前申し込みをお願いします。

富山県総合福祉会館 サンシップとやま
(富山市安住町5-21)



- ・富山駅から徒歩15分
 - ・市電「県庁前」から徒歩2分
 - ・有料駐車場あり
- ※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください

会場アクセス

申し込み方法・お問い合わせ

- ・グループトークは事前申し込みが必要です。お申し込みは専用フォームから9月10日(土)までお願いします。(https://bit.ly/3ONdiNt)
- ・富山言友会へのお問い合わせは toyama.gyk@gmail.com までお願いします。



〇シーグリーンは国際吃音啓発色です。